

News Letter

平成26年度第1回CFP®資格審査試験 最年少となる18歳での合格者が誕生！

いいおかりな
～飯岡利奈さん(18歳)慶應義塾大学1年在学中～

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会(略称:日本FP協会 理事長 白根壽晴)は、平成26年度第1回CFP®資格審査試験を実施し、最年少となる18歳での合格者が誕生しました。

合格者は、慶應義塾大学1年在学中の飯岡利奈さんです。飯岡さんは、アメリカ在住経験を持ち、「CFP®資格は、アメリカにおいて大変社会的信頼のある資格で、世界で活躍できるようになるために日本人として必須の教養、経済知識を身に付けたい」という思いから受験され、今回見事に全6課目一括合格されました(平成25年11月に実施した前回試験から20歳未満の方も受験可能となりました)。

※飯岡さんへのインタビュー(受験の動機や合格までの道のりなど)の詳細は2ページをご覧ください。

本試験は、平成26年6月8日・15日の両日、全国14地区で実施し、485名が試験課目全6課目に合格しました(合格者の平均年齢は43.9歳)。受験者総数は5,770名、受験者総数に対する全課目の合格者の輩出率は8.4%でした。今後、合格者はCFP®エントリー研修を修了し、かつ3年の実務経験要件を満たしたうえで、登録手続きをするとCFP®資格の認定を受けることができます。

CFP®資格は、北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアなど世界24カ国・地域(平成26年7月現在)で認められた世界水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できる、プロフェッショナルであることを証明する資格です。世界で153,376名(平成25年12月末現在)のCFP®認定者が登録されております。


近年では金融機関をはじめ様々な業態でCFP®資格への評価がいつそう高まっており、就職・転職等においても、注目を集めている有用な資格のひとつです。高い評価を得ている背景は、本資格が「4E(教育=Education、試験=Examination、経験=Experience、倫理=Ethics)」に基づく要件を備えた世界共通水準のプロフェッショナル資格であり、高度な知識と経験はもとより、厳格な倫理観を持ち合わせ、顧客に対し適切なアドバイスができるファイナンシャル・プランナーに与えられる資格であるからと考えられます。

【理事長／白根壽晴のコメント】

実務経験のある社会人でも着実に1課目ずつ合格することが難しいなか、18歳の若さで全6課目を1回で合格されたことを、心よりお祝い申し上げます。

消費税増税や年金財政への不安など、個人を取り巻く金融環境が大きく変化するなか、FP資格の頂点といわれるCFP®資格者の存在はますます重要になると確信しています。飯岡さん始め若い世代の皆様が今後の人生においてCFP®資格の知識を活かし、ご活躍されることを期待しています。

※平成26年度第1回CFP®資格審査試験及びCFP®資格の詳細につきましては、別紙1、2をご覧ください。

※  CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO 法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

特定非営利活動法人(NPO 法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜 1-4-19 マニユライフプレイス堂島 5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065



いinoかりな
飯岡利奈さん(18歳)

平成26年度第1回CFP®資格審査試験で、 全6課目合格した飯岡利奈さん(18歳)へのインタビュー

Q. CFP®資格審査試験を受験しようと思われたきっかけや動機を教えてください。

私はアメリカ在住経験があり、アメリカにいる両親の知人でCFP®資格を所持しているコンサルタントがいたため、CFP®資格は知っていました。

CFP®資格は、アメリカで大変社会的信頼のある資格です。私自身が世界で活躍できるようになるために、日本人として必須の教養、経済知識を身に付けたいと考えていたとき、FPは私のニーズにぴったりだと確信し、自身の資産管理等のためにも役に立つ知識だと思い受験を決めました。

Q. CFP®資格審査試験に1回で全課目合格できた秘訣はなんですか。

短期間で6課目合格できたのは、まずは、専門学校の先生方のおかげだと思っています。勉強は学校での休み時間や図書館を利用しました。合格の秘訣は、「ちょっとした時間でもどれだけ集中して勉強できるか」だと思います。「一度に6課目絶対合格するぞ!」という強い意志と、「取得すれば自分自身のためになる」という確信があったから頑張ることができました。

Q. 今回の試験で苦労した点などエピソードがあれば教えてください。

今年の3月上旬に2級FP技能検定兼AFP資格審査試験に合格し、CFP®資格審査試験6課目の勉強をはじめました。3月末より地元を離れ東京での初めての大学生活に戸惑い、あまり試験勉強が進まず焦っていました。一度に6課目ではなく、数課目ずつ受験しようかと何度も迷いましたが、負けず嫌いの私は、「一度決めたことは最後まで!!」と思い約2か月頑張りました。

Q. 今後、CFP®資格認定されたらどのように活かしていきたいですか。

今後、大学では経済・経営分野を主に専攻し、できるだけ英語で受講しながら今回学んだ知識などを基に国際感覚をしっかりと身に付けていきたいと考えています。

また、CFP®資格は世界で信頼されている資格なので、今後日本でも、もっと注目を浴びる資格になるのではないかと思います。

Q. 将来の目標や夢などがあれば教えてください。

将来、日本だけでなく地球の一員として社会に少しでも貢献できる人材になりたいと考えています。そうなることにより、将来、心身共に健康で心豊かに過ごすことが私の夢です。

■飯岡さんのCFP®資格審査試験全6課目合格までのスケジュール

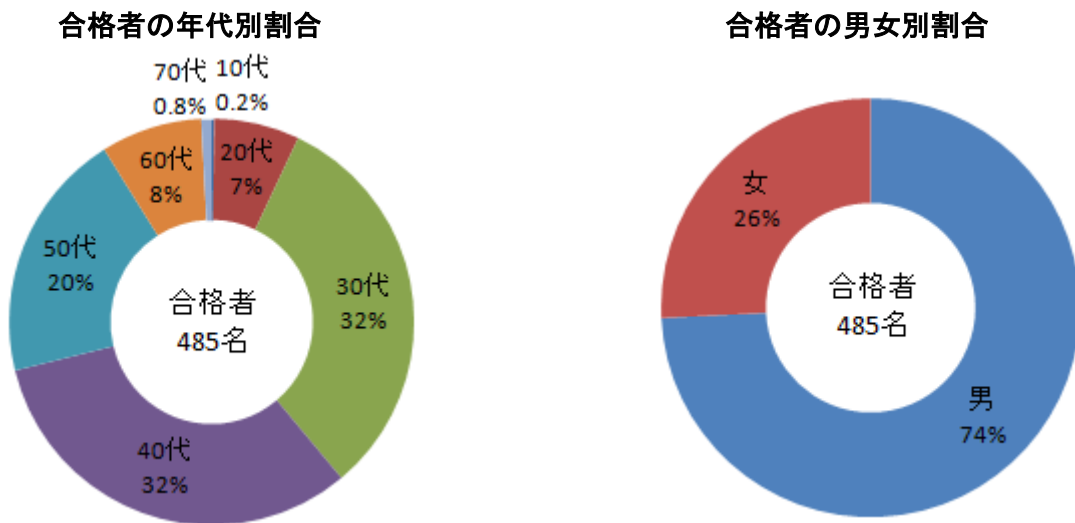
年月	内容
2014年4月	AFP資格認定
2014年6月	CFP®資格審査試験全6課目一括合格

《 CFP®資格審査試験／合格状況 》

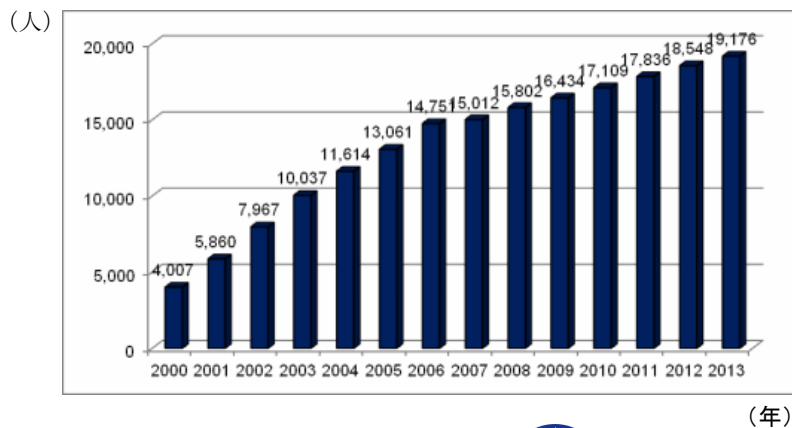
実施年度	(a)受験者数	(b)合格者数	(c)合格者輩出率(%)
平成25年度第1回	6,007	458	7.6
平成25年度第2回	5,763	531	9.2
平成26年度第1回	5,770	485	8.4

※「合格者輩出率」: CFP®資格審査試験の6課目について、課目別合格の累積も含め全課目合格した者(b)が、その時の受験者数(a)に対してどの程度の割合かを示した数値。
(合格者輩出率(c) = (b) ÷ (a) × 100)

《平成26年度第1回 CFP®資格審査試験／年代別・男女別合格者割合 》



日本のCFP®認定者数推移(グラフ)(平成25年12月末現在)



世界が認めるFPの頂点 CFP®資格



CFP®資格は、世界24カ国・地域(平成26年7月現在)で導入されている、「世界が認めるプロフェッショナルFPの証」です。認定要件の「4E(教育=Education、試験=Examination、経験=Experience、倫理=Ethics)」と、実務プロセス指針であるファイナンシャル・プランニング・プロセスの「6ステップ」のコンセプトに基づき、世界で認められた共通水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できる証明です。

CFP®認定者は、高度な知識と経験をもって長期的かつ総合的な視点で適切なアドバイスを提供し、他のFPの規範となる確固たる職業倫理を身につけているプロフェッショナルとしてCFP®資格を認定されています。国内ではNPO法人日本FP協会だけが資格認定できる「FPの頂点」とも言える資格です。

CFP®認定者は、日本FP協会のホームページから検索いただけます。<https://www.jafp.or.jp/cfp/agreement.htm>



◆CFP®資格は世界で最も代表的で信頼されている FP 資格

サーティファイド ファイナンシャル プランナー®資格の略称である CFP®資格は、1972 年に米国で創設されたファイナンシャル・プランナーのライセンスで、ファイナンシャル・プランニングの各分野に関する高度な教育や CFP®資格審査試験の合格などの要件を満たした者に授与される権威ある資格です。

ファイナンシャル・プランニングの先進国である米国で、この CFP®資格は最も代表的で信頼されるファイナンシャル・プランナーのライセンスとして国民に認知され、プロフェッショナル資格として高い評価を得ています。平成26年7月現在、世界の24カ国・地域で CFP®資格が導入されています。近年は、アジア地域での CFP®資格導入や CFP®認定者数の増加がみられます。

世界のCFP®認定者数データ

(平成25年12月末現在)

国・地域	CFP®認定者数	FPSB (旧CFPカウンシル) 加盟年	国・地域	CFP®認定者数	FPSB (旧CFPカウンシル) 加盟年
米国	69,127	1973(*1)	英国	996	1995
日本	19,176	1992	インドネシア	949	2006
カナダ	17,114	1996	シンガポール	914	1998
中国	15,632	2006	台湾	587	2005
オーストラリア	5,472	1990	ニュージーランド	351	1996
香港	4,842	2000	オーストリア	308	2002
南アフリカ	4,513	1998	スイス	251	1999
韓国	3,813	2000	アイルランド	226	2008
マレーシア	2,705	2000	オランダ	132	2009
インド	1,843	2001	タイ	111	2009
フランス	1,564	1997	イスラエル(*2)	61	アソシエート・メンバー
ドイツ	1,426	1997	コロンビア	-	2013
ブラジル	1,263	2002	合計	153,376	-

(*1)最初のCFP®認定者誕生年

(*2)FPSBがイスラエル組織と共同で認定

◆CFP®資格の認定

CFP®資格は、FP として必要かつ高度な知識と経験を有し、あらゆる顧客ニーズに対し適切なアドバイスと提案書の作成ができ、また他の FP の規範となる確固たる職業倫理を身につけている FP に与えられます。

《 CFP®資格の認定要件 》 CFP®認定者となり資格を維持するためには、以下の要件を満たさなければなりません。

- 試験: 日本 FP 協会が実施する CFP®資格審査試験の全 6 課目に合格すること。
- 教育: 所定の教育プログラムを修了し、試験合格後に日本FP協会が実施する「CFP®エントリー研修」を受講し、修了すること。
- 教育: 2 年ごとの資格更新に際し、日本 FP 協会が定める所定の「継続教育」単位を取得すること。
- 経験: 通算 3 年の実務経験要件を有すること(原則として試験合格前 10 年、後 5 年の期間での実務経験が対象)。
- 倫理: 日本 FP 協会が定める「会員倫理規程」等諸規程を順守すること。

◆CFP®資格審査試験の概要

【受験資格】 AFP 認定者または日本 FP 協会が指定する大学院所定の課程修了者。

【試験課目】 6 課目

- (1) 金融資産運用設計
- (2) 不動産運用設計
- (3) ライフプランニング・リタイアメントプランニング
- (4) リスクと保険
- (5) タックスプランニング
- (6) 相続・事業承継設計

※試験は年 2 回(6 月と 11 月)実施し、1 課目ずつの受験及び合格が認められています。

【試験時間】 1 課目 2 時間。1 日 3 課目、2 日間にわたって実施します。

【出題】 1 課目 50 問。4 肢択一方式。

【受験地】 全国 14 地区(札幌、仙台、宇都宮、東京、新潟、金沢、静岡、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、熊本、那覇)
※平成 25 年度第 2 回試験より増設した 4 会場(宇都宮、新潟、静岡、熊本)を含む。

【受験料】 受験料は下表のとおりです(平成 26 年度第 1 回試験より)。

受験出願課目数	1課目	2課目	3課目	4課目	5課目	6課目
受験料(税込み)	5,400円	9,720円	14,040円	18,360円	22,680円	27,000円

※1 課目 5,400 円です。2 課目以上の出願時は、1 課目ごと 4,320 円が受験料として加算されます。